

* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) *



令和7年第35週 (8月25日～8月31日)

新型コロナウイルス感染症が引き続き流行しています

今週、竹田市調査医療機関からの報告数は94名と、先週の74名から3週連続で増加しました。豊肥保健所管内では、定点あたり7.40人から9.40人に、大分県全体でも定点あたり12.62人から12.72人に増加しました。大分県では、先週から流行発生注意報レベルを上回ったとして、注意喚起を呼びかけています。

新学期を迎え、学校や職場など、多くの人が集まる機会が増えました。手洗い、うがい、換気を心がけ、感染を広げないようにしましょう。体調不良時は、無理をせずに休養することも大切です。エアコンを使用する際は、定期的に換気を行い、閉め切った状態が長く続かないように気をつけましょう。また、飛沫感染を防ぐために、咳が出るときはマスクを着用しましょう。マスクがない場合は、口や鼻をティッシュ・ハンカチ、または上着の内側や袖で覆う等の咳エチケットが大切です。



大分県内で伝染性紅斑が流行しています

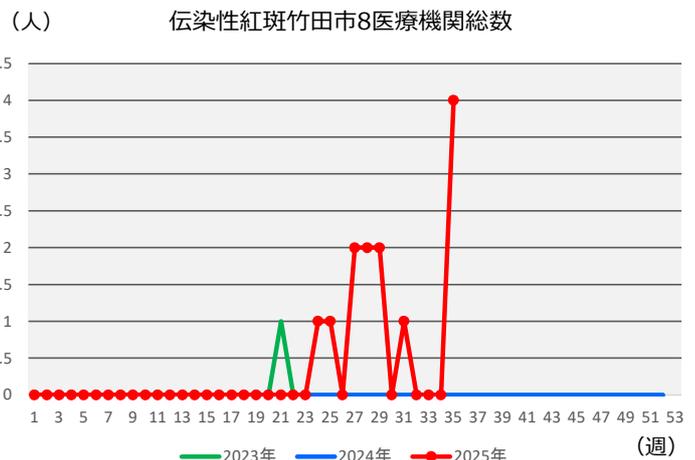
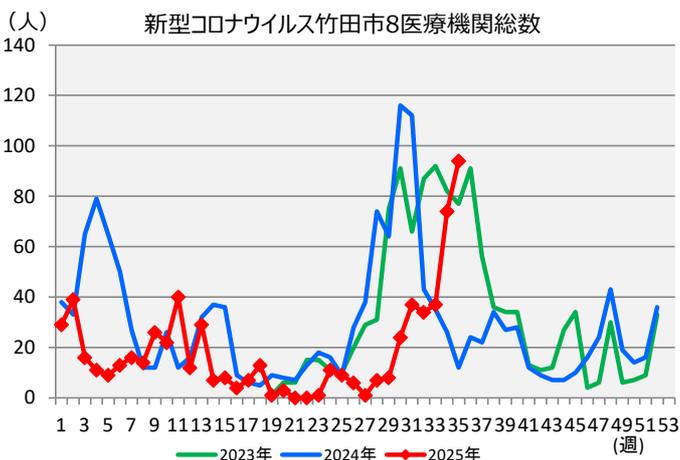
今週の竹田市調査医療機関からの報告数は4人でした。県内では、定点あたり5.86人から5.53人と若干減少しましたが、引き続き流行発生警報レベルとなっています。

伝染性紅斑はリンゴ病とも呼ばれ、頬に特徴的な発しん(紅斑)が出現します。頬の発しんが出る7～10日前に現れる微熱やかぜ様症状の時期に、ウイルスの排泄量が最も多くなり、感染のリスクが高まります。感染経路は飛沫感染や接触感染となるため、こまめな手洗い・うがい、咳エチケットを心がけることが大切です。

これまでに感染したことがない女性が妊娠中に感染すると、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や流産のリスクとなる可能性があります。感染を疑うような症状がある場合は、医療機関へ相談しましょう。

(第35週) (調査医療機関8か所の総患者数)

疾患名 年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結核熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻しん(全数報告)	風しん(全数報告)	百日咳(全数報告)	つつが虫病(全数報告)	
	A型	B型	不明																	
0歳				1																
1～3歳											1									
4～6歳											2		1							
7～9歳				4							1									
10～14歳				4																
15～19歳				2																
20歳以上				83				2												
今週				94				2			4		1							
70歳以上(再掲)				39																
先週				74				2					1	1						



でんせんせいこうはん

伝染性紅斑

両頬に赤い発しん（紅斑）が出ることから「リンゴ病」とも呼ばれる小児に多い感染症です。



10～20日の潜伏期間の後
微熱・かぜに似た症状

この時期にウイルスの排出が最も多くなります。



こんな症状がみられます

ほっぺたがリンゴのように
赤くなります（紅斑）

発しんが現れたときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力もほぼ消失しています。発しんは1週間程度で消失しますが、中には長引いたり、一度消えた発しんが短期間のうちに再び出現したりすることがあります。

予防と対策

手洗い、マスク着用など

基本的な感染症対策を心がけましょう！

伝染性紅斑の主な感染経路は、「飛まつ感染」と「接触感染」です。子どもを感染から守るため、周囲の人も基本的な感染症対策を心がけましょう。

妊娠中又は妊娠の可能性がある方へ

これまで伝染性紅斑に感染したことがない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発しんが出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。また、感染しても症状がないこと（不顕性感染）もあるため、周囲に伝染性紅斑の人がいる場合は、妊婦健診の際に、医師に伝えてください。



詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください

厚生労働省

感染症対策課 2025年5月作成

